

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区の避難指示が解除されました。さらに2022年6月には下野上地区など町内の一部で避難指示が解除され、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町大川原LIFE編集部 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

エミリーの 天の川農園

草と一緒に
草と一緒に



こんにちは
エミリーです。
大川原で農業を
はじめました！
♡

← 実はこちら、じゃがいも畑です！🍅🍅

今回は、大川原で農業に励むフランス人女性、エミリーさんをご紹介します。
「もう農業やってるよ！って伝えなかった」とエミリーさん。そう、エミリーさんの「天の川農園」には草がいっぱい。大熊町の人々には、「まだやれてないんだべ…」と心配されているようなのですが、これがエミリーのやり方。薬を使わない、雑草とも共存する農業を大熊で実践しているのです。高校生のころから農業に憧れていたエミリーさん。その夢を大熊町で叶えようとしています。…草をかきわけ、エミリーの畑を案内してもらおうと一



裏面に続きます。→



この山の景色がとても好き。
山なみが私を大熊に導いてくれた!!

エミリーが来日したのは2011年。東日本大震災の直後だったといいます。「東京は大丈夫」と思っていたとのことですが、一方で、福島は避けていたそうです。ところが、2018年、旅行で会津に来てみると「好きになった。住みたい! 住みたい!!」と思って。農業に抱いていた憧れも再燃し、土地を探していたところ、たまたま行き合っていたのが山麓線から見た大川原の山並み。「よし、大熊だ!!」と今年2月に移住してきました。



イラストも描いています!

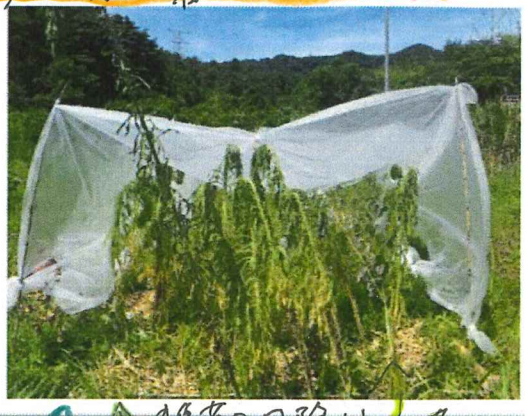
エミリーが描いた赤パニTシャツ!! かわ!!!

大川原に借りることができた1.7haの畑は、「天の川農園」と名付けました。「草と一緒にですよ」とエミリー。草をかき分け、あちこちに植えられた野菜や果木樹の苗に「大丈夫? 元気かな」と声をかけていました。先日はなんと、ラズベリーの目除けにするために、雑草の植え替えもしたんだとか!! (←左がその様子です!)

今年の夏は暑いよ~!! ☀️

今は農業のほか、フランス語を教えたり、イラストを描いたりして生計を立てています。

「大熊、ずっといるんじゃないかな!?!」と嬉しい言葉。大熊生活、満喫中です 😊



雑草の目除け